

一日も早く、よりよい 教育環境の新中学校創設を!

田川市教育委員会 教育長 ^き ^{りゅう} ^{けい} ^じ
吉 柳 啓 二

「わー、スゲー!キレイなトイレ!」

「わー、明るい!まるでホテルのトイレみたい!」

これらは、9月1日、弓削田小学校と大浦小学校の新しくなったトイレの視察に行ったとき、ピカピカのトイレを使用する子どもたちから聞こえてきた会話の一部です。カラフルな入り口のガラスブロック、車いすの方が使用できる広いスペースのウォシュレット付多目的トイレ、ホテルと見間違えるようなきれいな洗面所(衛生を考えた自動蛇口)、そして、何よりも採光が抜群で、明るいのです。子どもたちの喜び声と笑顔を見て、教育委員会の担当職員はみんな「夏休み中の改修工事が間に合ってよかったネ!」とうれしそうに話していました。(教育委員会は、あと2か年で、すべての小学校のトイレを改修する計画を立てています。)

私は、この子どもたちの声を聞きながら、現在進めている「田川市新中学校創設」のことを心に浮かべました。「ピカピカの新しいトイレができて使用できるだけでも、子どもたちはこんなに喜んでくれる!もし、新中学校が完成したら、生徒たちはもっともっと喜んでくれるに違いない…。」

というのも、新中学校創設を推進するために、教育委員会では、何度か隣の宮若市や飯塚市の新中学校を視察しました。宮若市は、旧宮田町(私の生まれ育った炭坑町で、ほぼ田川市と同じ面積)と旧若宮町(農業の盛んな町で、田川市の約1.5倍の面積)が合併してできた人口約3万人の市です。旧宮田町の全盛期には約5万人の人口があり、中学校も6校ほどありましたが、炭坑閉山に伴い、一度3校に再編されました。合併後、さらに旧宮田地区に1校(宮若東中学校)、旧若宮地区に1校(宮若西中学校)と、田川市の2.5倍の面積をもつ宮若市は、計2校の新中学校に再編されたのです。生徒数452人(1学年4~5学級)の宮若東中学校へ視察に行きましたが、冷暖房付き校舎(体育館・武道場も含む)の素晴らしさ、部活動の多様さと活発さ、再編前のそれぞれの中学校の伝統・文化の活かし方など、大変参考になりました。

一方、現在の田川市は、炭坑全盛期の人口約10万人を超えた頃の中学校数8校のままで、どの中学校も1~2学級数の小規模校となってしまいました。そのため、すべての子どもたちに社会性や生きる力を身に付けさせるための最適な教育環境が整備できていません。

部活動では、制約が増えてきて、1校ではチームを組めない学校が増加しています。また、学校行事においても、以前のような活気ある活動が難しくなってきました。私が校長として勤めていた弓削田中学校の運動会の終了後、地域の方から言われた言葉が忘れられません。約200人の生徒たちは「やる時はやる!」という“弓中魂”を発揮し、力いっぱい演技しました。そして、多くの保護者から大きな拍手をもらいました。しかし、閉会式後、地域のある役員さんが「迫力の足りない運動会だったなあ」と話されました。よくよく聞いてみると、生徒の演技のことでなく「自分たちの頃は生徒が運動場いっぱいいた。今は、昔と比べて、生徒数が半分どころか、何分の一かになり寂しく感じた」ということでした。

また、昨年2月、市内全中学校の生徒代表が集い「田川市中学校生徒会サミット」を開催し、“新中学校に期待すること”というテーマで話し合い、文章にまとめました。「部活動の種類が増えて盛んになり、強くなるように!」「施設・設備が充実し、きれいな学校に!」「冷暖房がある学校に!」「各中学校の伝統や良さを引き継いだ学校に!」「福岡県ナンバーワンの学力のある学校に!」「団結力のある学校に!」などの内容が書かれていました。

田川市教育委員会では、上のような生徒たちの声だけでなく、住民アンケートや住民説明会・保護者説明会などを実施し、さまざまな意見をいただけてきました。その後、市長をトップとする「庁内検討委員会」を設置し、安全面・財政面・まちづくりなどいろいろな観点から検討を重ねました。そして、この9月、最終的に教育委員会として「新中学校創設基本計画案」をまとめました。現在、この「基本計画案」をもとに「議会説明」「住民説明会」を実施し、多くの意見をいただいています。

これから、教育委員会は、施設設備のハード面だけでなく、教育内容・方法などのソフト面でも、最高の教育環境(“夢の新中学校”)を創設するために全力を尽くします。そして、「学力」「社会性」「個性」を伸ばす教育を創造し「子育てをするなら田川市で!」と言われる“教育のまち田川市”をめざします。市民のみなさまのご理解とご協力をお願いします。



△ 宮若市立宮若東中学校



平成29年度全国学力・学習状況調査結果 (田川市教育委員会)

調査の概要

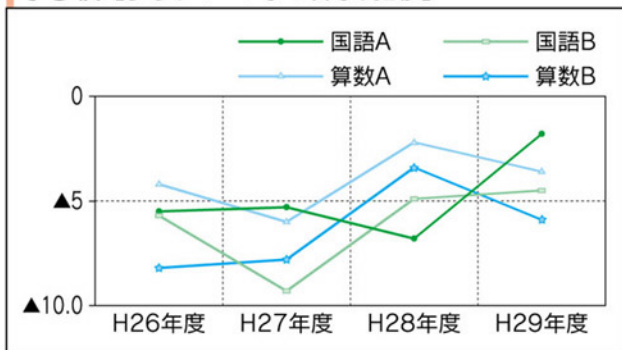
全国学力・学習状況調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象とし、国語科と算数・数学科の2教科で行います。それぞれの教科について、「身に付けておく必要のある知識技能などを中心として出題」をするA問題、「知識・技能等を実生活の場面で活用する力などに関わる内容を中心として出題」をするB問題の調査で構成されています。

調査の結果

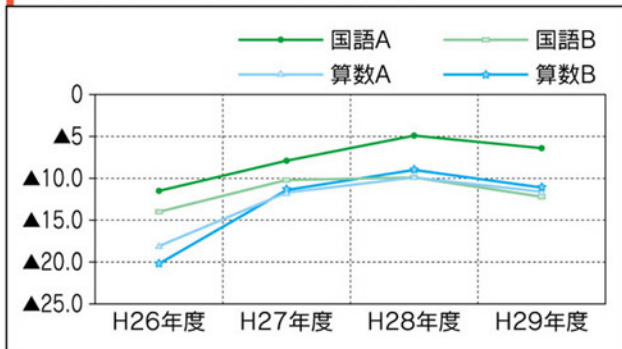
本年度の調査結果は、小学校では2年連続改善傾向が見られましたが、中学校では昨年度を下回る結果となりました。小・中学校とも全国平均を下回っており、まだまだ課題はありますが、調査学年は昨年度の学力実態から学力を伸ばしており、徹底反復学習を継続しつつ、今後も更なる向上に向け学力向上策を推進していく必要があります。

全国学力調査

小学校【グラフ1-1 小4年間の推移】



中学校【グラフ1-2 中4年間の推移】



小学校では、特に読み書きの基本である国語Aでは全国平均にあと1.8ポイントと迫り、確実に全国との差が縮まっています。中学校では、本年度は全国平均正答率との差が昨年度よりも開く結果となりました。しかし、下げ幅は微減であり、学力の底上

げが図られており、この結果は、^{かげやま}陰山メソッド・^{おごうしき}小河式を実施したことが、課題を改善したといえます。また、国語と算数・数学に関する20項目にわたる学習状況の質問に対して、小中学校とも肯定的な意見が、全国平均を上回る結果となっています。これは、国語や算数・数学に対する意識が変容し、学習への意欲の高まりの表れと見られます。

学習状況調査

小学校【「はい」と回答した割合(%)】

質問事項	29全国	29本市
国語の勉強は好きですか	25.5 ↑	29.2
国語の勉強は大切だと思いますか	65.7 ↑	71.0
国語の授業の内容はよく分かりますか	38.9 ↑	41.3
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	55.7 ↑	69.7
算数の勉強は好きですか	38.5 ↑	41.3
算数の勉強は大切だと思いますか	72.9 ↑	76.2
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	50.3 ↑	52.1
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	46.0 ↑	47.2

中学校【「はい」と回答した割合(%)】

質問事項	29全国	29本市
国語の勉強は好きですか	23.8 ↑	29.5
国語の勉強は大切だと思いますか	56.1 ↑	61.2
国語の授業の内容はよく分かりますか	26.8 ↑	28.1
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	44.7 ↑	52.9
数学の勉強は大切だと思いますか	47.7 ↑	52.3
数学の授業の内容はよく分かりますか	31.5 ↑	35.3
数学ができるようになりたいと思いますか	73.7 ↑	78.8
数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	36.0 ↑	36.1

基礎基本の徹底を行うことにより、学力の土台が堅固になり、B問題(活用問題)も伸びてきています。今後も学校・家庭・地域・行政が一体となって学力向上に取り組んでいくことが大切です。

※市ホームページに詳しい内容を掲載しています。
問い合わせ 学校教育課学校教育係(☎85-7167)

教えて!再編ススムくん

今回は、現在田川市HPで公開中の「**新中学校創設基本計画(案)**」について説明するよ!



田川市教育委員会は、中学校の再編を進めるため、平成25年に「田川市立学校 校区再編基本方針」を策定した後、田川市新中学校のあり方に関する審議会への諮問、市民アンケート、市立中学校再編に関する住民説明会、保護者懇談会などを通じて様々な意見を聴取しました。

その後、みなさまからの意見を参考にしつつ、財政面やまちづくりの観点からも検討を重ね、今回新中学校創設基本計画(案) (以下「基本計画(案)」という) を作成するに至りました。



基本的な考え方

- ◎望ましい学校規模を将来にわたって持続する観点から、7中学校を2校に再編します。(猪位金校区をのぞく)
- ◎徒歩または自転車通学を基本としますが、通学の安全確保および負担軽減に配慮するため、スクールバスの運行を検討します。
- ◎小学校と中学校の接続を強化するため、新中学校区の境界線は現小学校区の境界線に沿って設けます。

再編の枠組みと学校位置

校区を旧東区と旧西区に分け、学校位置は、現伊田中学校敷地、現後藤寺中学校敷地とします。(詳細は下図参照)
なお、再編後の学校規模に適した広さを確保するため、周辺用地の購入を検討します。

開校時期

平成34年度を開校目標に進めていきます。

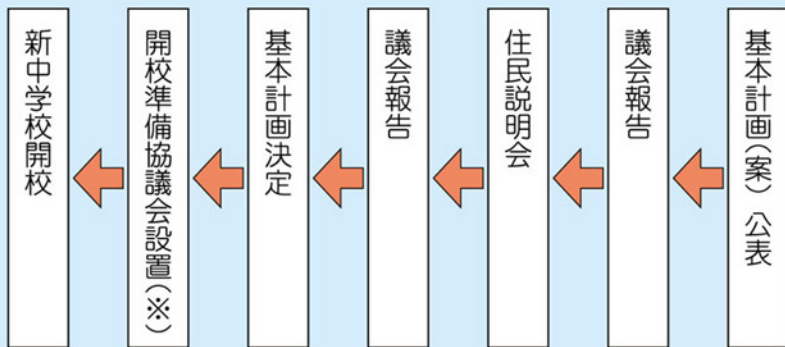
●再編の枠組みと学校位置

校区(仮称)	東中学校区	西中学校区
通 学 校 区	田川小、鎮西小 伊田小、金川小	弓削田小、大藪小 後藤寺小、大浦小
学 校 位 置	現伊田中敷地	現後藤寺中敷地



今後の流れ

基本計画(案) について議会報告や住民説明会を行い、そこで出された意見を参考に基本計画を決定していきます。



※開校準備協議会とは、地域住民、保護者、教員、行政職員などで構成し、学校づくりについて検討する組織です。



現在、基本計画案に関する説明会を各小学校区単位で実施中だよ。今後は、説明会で頂いた意見を参考にしながら、新中学校創設基本計画策定を目指して取り組んでいくよ!

中学校給食の食品衛生管理の徹底について

本年4月から開始しました中学校給食(ランチボックス)において、髪の毛などの異物が混入する事例が発生したことに対しまして、生徒および保護者の皆様には、多大なご心配をおかけしました。

田川市教育委員会において、2学期以降、異物の検体検査を行った結果、調理部門での混入の可

能性は、ほとんどないことが判明しました。

教育委員会といたしましては、今後も食品の衛生管理の徹底、そして安全・安心でおいしい給食の提供に努力を重ねてまいります。

■問い合わせ：

学校教育課 学校給食係【☎85-7178】

平成29年度 第49回田川市小学校陸上記録会

33年ぶりに新記録! 100m走5年女子最速記録が更新14秒78から13秒9に!

10月27日、こがねが丘陸上競技場で「第49回田川市小学校陸上記録会」が晴天の中行われ、市内の9小学校を代表する5・6年生約400人が練習の成果を十分に発揮しました。

100m走5年女子の部で記録を更新した森光憂徠さん(大浦小)は「新記録を出して優勝できたのでとてもうれしいです。33年ぶりの新記録と聞いて驚きました。来年は今よりももっと速くなって、6年女子の記録も更新したいです」と笑顔で話しました。

この陸上記録会は、平成30年度で50周年の節目を迎えます。この節目を記念し、次回開催時には、会場で最高記録保持者のメッセージや紹介などを行う予定です。

子どもたちや保護者のみなさんにとって、思い出に残る記録会となるよう、全力で取り組みますので、ご期待ください。

<一口メモ> 陸上記録会の歴史

～お父さんのお父さんも、お母さんのお母さんも

参加した陸上記録会～

この陸上記録会が始まったのは昭和43年のこと。炭坑閉山の影響などで田川を離れる家族が続出した昭和40年頃に各小学校の体育教諭が「何か、子どもたちを元気づけることができないか」と話し合い、開催が決まったのです。

開始当初は、各校の校内予選を勝ち抜いた学級が代表学級として出場し、会場も東区と西区の小学校の運動場を交互に使用していました。

また、現在9色あるハチマキの色も、当時は旧船尾小学校を含め10色あり、各学校がどの色にするかを決めるのに、とても時間がかかったそうです。

順位は1位のみ掲載(敬称略)

● 100m走 ●

5年女子	大浦小	森光 憂徠	13"9
5年男子	伊田小	毛利 遥大	14"3
6年女子	大浦小	森光 夢奈	14"7
6年男子	弓削田小	方志 龍馬	14"2

● 80mハードル ●

5年女子	鎮西小	福地 るな	15"3
5年男子	伊田小	水岡 煌翔	14"1
6年女子	後藤寺小	岩丸明日香	13"9
6年男子	大藪小	金山 藍風	12"3

● 400mリレー ●

5年女子	金川小	1'05"0
	坪根ひより	林 花音
	荒川 心愛	白井 優花

5年男子 伊田小 1'02"3

尾垣 伸征	平良 海璃
入船 春樹	栗木 光陽

6年女子 伊田小 1'01"8

兵道 日菜	川上 星璃
平尾 華菜	山口 結衣

6年男子 弓削田小 58"8

笹山 一音	平田 春空
鳴海 大樹	太田 海翔

● 持久走(女子800m、男子1,000m) ●

5年女子	伊田小	進 虹歌	3'01"7
5年男子	伊田小	石井斗雅	3'34"9
6年女子	後藤寺小	飯干夏絵	2'41"2

6年男子

猪位金学園 日高 悠希 3'28"6

● 走り高跳び ●

5年女子	金川小	山下 絢香	1m17
5年男子	伊田小	進 豊	1m23
6年女子	金川小	杉本 安寿	1m17
6年男子	弓削田小	吉田 飛輝	1m41

● 走り幅跳び ●

5年女子	伊田小	小田 優朱	3m61
5年男子	鎮西小	中村 涼	3m76
6年女子	弓削田小	垣生 紗菜	3m59
6年男子	弓削田小	田中 喜登	4m00

